

主筆牧野先生ハ武州膝折デあかはなわらびト云フ瓶爾小草科ノ新種ヲ發見シテ之ニ *Botrychium nipponicum* Makino. ノ學名ヲ與ヘテ居ル、コノ羊齒ハ一見おほはなわらびニ似テ居ルガ光澤ノアル煉瓦色デアツテ牧野先生ハ *Iaterricus* ト記シテ居ル、其記載ハ本誌一ノ二即チ大正五年四月號ニアルガ之ヲ讀ンデ見ルト色バカリデナク脈モおほはなわらびトハ非常ニ異リ明瞭ナ種デアルコトガ判ル

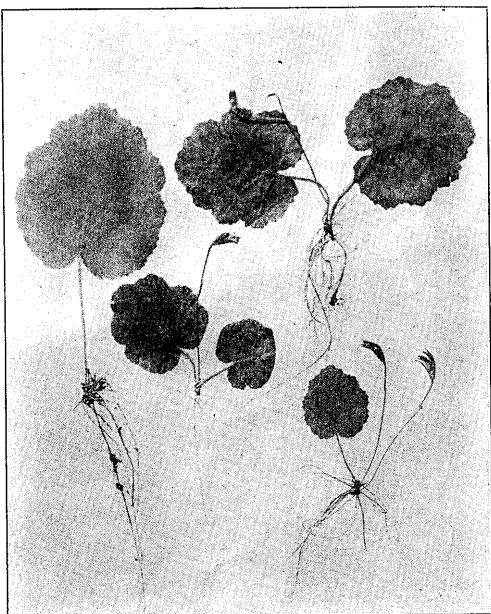
其後ヤハリ膝折附近デ理學士朝比奈貞一君ガ之ヲ採集シタト聞イテ居ルガ更ニ大正六年二月ニ相州箱根權現ノ森デモ發見シタモノガアル

余ハ本年四月之ヲ武州秩父武甲山下ノ各處デ採集シタ之ガ恐ラク本邦第三ノ產地デアルガ此様ニ各地デ見出サレテ居ル處カラ見ルト其分布ハ相當ニ廣イノデアラウガ一般人士ノ目ニフレル割合ガ少イタメカ其他ニ產地ガ知ラレテキナイノデハアルマイカ記シテ同好ノ注意ヲ喚起シテオク

○いはざくらノ產地

岡 田 喜 一

大正十三年七月九日信州下伊那郡大鹿村デいはざくらト思ハレルモノヲ發見シタ、早速矢田部博士ノ原記載(植物學雜誌、第四卷第四十五號(一八九〇年))ト照合シ葉ノ圓形或ハ廣卵形、基脚心臟形緣邊微缺刻ニシテ不同ノ尖頭鋸齒アル點蒴ノ細長ニシテ稍彎曲シ、萼ヨリ二倍半乃至三倍長キ點、及ビ種子暗褐色デ外面細微ノ突起アル點、其他岩壁ノ罅間ニ産スル等ノ特徴ヨリハ^{いはざくら} (*Primula tosaensis* YATABE.) デアル事ヲ確カメ得タ、タゞ此原記載ト異ナル點ハ一體ニ小サイ事デ即チ葉ノ長サ八分乃至二寸五分ハ一分五厘乃至二寸、葉柄一寸五分乃至三寸ハ二分乃至三寸七分、蒴ノ長サ五分乃至五分五厘ハ二分五厘乃至三分五厘、花莖ノ長サ二寸五分乃至四寸ハ一寸五分乃至二寸強、二乃至六個ヨリナル繖形花叢ハ一乃至二個デアルガ是レハ地味氣候等ノ由



いはざくら (Primula tosaensis YATABE.)
信州下伊那郡大鹿村産 (岡田喜一撮影)

然ルニ偶マ紀州有田郡湯淺町有田女學校所藏ノ腊葉ヲ檢スル事ヲ得タル折、伊勢菰野山採集品中ニ此いはざくらガアッタ依テ該地ニ迄産スル事ヲ知り歸宅シテ植物學雜誌中ノ菰野山ノ採集目錄ヲ檢シタルニ同山ニテハ夙ニ矢田部博士ノ發表ノ翌年即チ一八九一年ニ梅村甚太郎氏ガいはざくら(トサザクラ *P. tosaensis* YATABE. ノ方)ト明記サレテ居ルヲ見タガ其後此產地ハ何故カ何レノ書ニモ引用サレテ居ナク全ク忘レラレテ居ッタ頃日廣瀬巨海氏ニ依ッテ此菰野山ニ該草ノ産スルコトハ相當古クヨリ知ラレテ居リ園藝家ノ間ニハ些シテ珍ラシイコトデハナク尾州名古屋邊ノ花戸ニ多ク散見スルノハ此菰野山ノモノデアリ尙其外、大和國デハ芳野郡ノ

いはざくらノ產地

テ然ラシメタルモノト思フ
此植物ハ特ニ珍稀トカ稀少トカ云フモノデハナイガ、タゞ寡聞ナル小生ニハ此地ニ産スルコトガ分布上面白イ事ト思ッタ、即チ矢田部博士記載ニハ土佐國名野川村及同安居村デ土佐國ニ限ラレテ居タ、一九一三年ノ Notes from the Royal Botanic Garden, Edinburgh, Vol. VIII. No. XXXVII. 記載ノ武田久吉博士ノ Notes on the Japanese Primulas 云々 As far as I am aware it has been recorded only from the Province of Tosa, Shikoku. トアルノミデ最近ノ大著タル日本植物總覽(一九二五年)ニハ四國ノ外九州ヲ擧ゲラレテ分布ノ本州ニ及ブ事ヲ記サレテキナイ

いはざくらの産地

三ノ子谷ニモ産スル事ヲ御教示下サレタ

依テいはざくらノ産地トシテ目下知ルコトヲ得タノハ四國、九州、大和、伊勢、信濃（小生既知ノ場所二ヶ所）ト斷續スル五ヶ所トナリ此大鹿村ハ其東北限トナツタワケデアル

因ミニ、信濃教育會下伊那郡部會編纂ノ「赤石登山案内」(一九二三年七月二十五日發行)二八頁ニいはざくら
ト思ハル、モノ、腊葉寫眞アルモタゞ番號ノミデ和名ヲ省略シテアル(こいはざくらニハ番號及ビ和名モ記サ
レテキルガ)即チ此地(大鹿村)デ採集ダケハ少クトモ小生ヨリ一ケ年早ク爲サレテ居タノデアラウト思フ
小泉秀雄氏著『日本南アルプス寒地植物誌』(一九二四年三月十七日發行)ニハ此大鹿村ニいはざくらノ産スル
コトノ有無及ビ該草ニ就テノ收録ハ無イ

コトノ有無及ビ該草ニ就テノ收録ハ無イ

〔牧野日ヲ〕いはさくらガ伊勢ノ蕪野山ニ産スルコトハ舊クカラ濃尾ノ草木學者ニハ知ラレテ居ツタモノト見ユル、伊藤主介著『日本植物圖說』ニハ勢州蕪野湯ノ山大石ノ邊ニ多シト記シ蕪野ニテハ方言古々さくら好ソト呼バ付ケタモノデ水谷鹽文著『物品鑑名拾遺』昭和二年ヨリ百二十年前ノ交政八刊行）ニハ「イハナハ多分徳川末生葉時代ニ尾州名古屋ノ同好學者連ガ付ケタモノデア爾暨今、今日故人物トナッタ伊勢四日市ノ川崎光次郎君カ同國西境方面ニ在ル何トカ云フ山ニハ澤山生ジテ居ルト聞イタコトガアルガ残念ナコトニ私ハ今其山名ヲ逸シテ覺エテ居ナイガ汽車ノ臆カラ其山ヲ遠望シテ通ツタカラ復タ其處ヲ通レバドノ山ト云フコトクライハ判ルデアラウ

正誤 ●第四卷第一號表紙 結水 ハ 氷華 ○口繪ハニ一覽左側ノ文三行 明治九年 ハ 明治七年 ○(23) 同第三號口繪下ノ氷華○
 (26) 頁、左ヨリシテ 糟田ノ上ニ「ヲ入ル」 同第二號 (35) 頁、換ヘタルモチアリアル ○(59) 頁、四行、東ノ山面 ハ 西ノ山面 ●同
 第四號表紙 (81) (82) (85) (89) (92) (94) (96) (93) (99) (102) (104) (105) (106) ヲ順次ニ (85) (86) (89) (93) (95) (98) (100) (102) (103) (106) (108)
 (109) (110) ト改ム ○口繪分々各まづルヲ學名 Erichsonia ハ Erichthonium ○頁數 (81) (85) = 改メ以下順ヲ追テ之ニ從ヒテ其數ヲ
 (107) 直ニ最後ノ (106) ヲ改メテ止ム故ニ (85) ハ (89) トナリ (90) ハ (94) トナリ (96) ハ (100) トナリ (104) ハ
 (109) トナリ他ノ頁モ亦同じ割合テ變ナルノデアル ○舊ノ (81) 頁、改正ノ (85) 頁、左カ七行 祝詞と甲詞 ヲ除ク Metamor、ハ
 (108) Sekine ハ SERICE DAN ハ por *Erichthonium* ハ *Erythrachnum Hakone-Yadake?* (註イタ) 除ク Metamor、ハ
 ナ除ク Nakai's criticism ハ Nekari's criticism ハ Iversy's criticism ハ University Exam ハ (81) (82) (85) (89) (92) (94) (96) (98) (99) (102)
 (104) (105) (106) ヲ順次ニ (85) (86) (89) (93) (96) (98) (100) (102) (103) (106) (108) (109) (110) ト訂正スル